

YOTSUBA の 風

伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校 学校通信 第13号 平成29年9月11日発行



2年 アカデミックキャンプ ～ 最先端技術や本物に触れる体験をしよう ～

- 日 時 : 平成29年8月30日(水)～9月1日(金) (2泊3日)
場 所 : オリンピック記念青少年総合センター、早稲田大学、東京大学他
目 的 : (1)政治・経済・文化等の中心である東京での体験活動を通し、探究心を育て、教養人としての素養を身に付ける。
(2)グローバル体験学習の内容である「環境」「伝統文化」「ものづくり」「多文化理解」を踏まえ、日頃の学習に関する理解を深めるとともに、自ら考え、協力して行動する態度を養う。



環 境

様々な視点から環境を考えよう！



<JAMSTEC 横浜研究所>



<芝浦水再生センター>



<観音崎自然博物館>

伝統文化

日本の心と伝統文化について考えよう！

○早稲田大学能楽サークル「金春会」と講師による能の体験研修

○江戸東京博物館

○松竹大歌舞伎「猩々」「熊谷陣屋」等



<能の体験研修>



<旧岩崎邸>

多文化理解

視野を世界に広げよう！



<JICA地球ひろば>



<国連大学での講義>



<東京外国語大学(留学生との交流)>

ものづくり

日本のものづくりを考えよう！



<深中メッキ工業
深田 稔先生>

<からくり屏風づくり体験>



<早稲田大学ロボット開発>



<Twins 高西淳夫先生>

体験の振り返りと共有

体験一日目の夜、オリンピックセンターの講義室において、一人一人が活動を通して感動したこと、これからしてみたいことなどのプレゼンテーションを行い、活動の振り返りを行いました。そして、二日目の夜は、各領域ごとに見学内容や講義内容の発表を行いました。短い準備時間でしたが、各領域ともに創意工夫あふれる発表を行い、各領域の活動を共有することができました。



<チャレンジ！ACPP>



<領域ごとの発表>

<3日目 アカデミックセミナー>

★ 東京大学大学院生による講義「10分で伝えます！ 東大研究最前線！」★

- ・『しがらみと日本人』 岩谷 舟真
- ・『文系は作者の気持ちを考える？』 鈴木 亘
- ・『もっと先の天気を知りたい』 岡島 悟
- ・『冬眠するために必要な遺伝子を探せ！』 姉川 大輔



★ 東京大学名誉教授 尾嶋正治 先生による講義 ★

尾嶋先生は現在、地球温暖化、砂漠化、海洋酸性化、鉱物資源の枯渇など、21世紀の人類が直面する重要課題を解決するため、「グリーンナノテク」の一環として、省エネルギー型新型素子・燃料電池用電極触媒、Liイオン電池など蓄電材料をターゲットにして研究を進めています。



★ 東京大学文学部教授 高木和子 先生による講義 ★

高木和子先生は、平安時代の仮名文学、特に『源氏物語』を研究しています。『源氏物語』が生まれる前に至る文学史的な動態を探ること、そして『源氏物語』そのものの構造や表現を分析することを研究課題としています。今回は、『伊勢物語』を取り上げ、物語の内容をととても分かりやすく解説してくださり、古典文学の魅力を存分に伝えてくれました。

